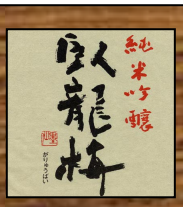
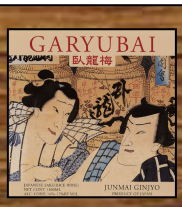
『臥龍梅』　蔵便り

平成二十九年師走





拝啓　年の瀬を迎え何となく気ぜわしく感じる今日この頃ですが、皆様お元気でお過ごしでしょうか。

今月もご報告することが盛りだくさんです。11 月 3 日の文化の日、東京日本橋の**福徳の森日本酒祭り**に参加いたしました。福徳の森というのは古くからこの地にある福徳神社の隣地に新たに誕生した交流スペースです。流行スポット CORED 室町の隣、三越本店もすぐ近くという日本橋のど真ん中に弊社を含め二十の蔵が集結し、路上にブースを構えました。12 時の開会から 16 時の閉会までひっきりなしのお客様で用意したお酒 1.8L 壜 20 本のあらかたが売切れました。**開壜十里香の袋吊り**がことに人気で何度も足を運んでくださるお客様が何人もおられました。11 月 10 日には、地元の清水テルサ 8F にあるレストラン、ブランオーシャンで**第 2 回臥龍梅ヌーヴォーを愉しむ会**を開催しました。昼は富士山の、夜は清水港の夜景の美しい会場です。今回は臥龍梅応援団員と私のごく親しい方にだけお声を掛けましたが、100 名近いお客様で会場は満杯となりました。受付開始 18：10、開宴 18：30 の予定でしたが、17：30 頃からお客様が詰めかけてくださり、平成 29BY の新酒搾りたて、五百万石 55%の純米吟醸袋吊りをウェルカムドリンクで提供したところ、会場は乾杯時には既にヒートアップ状態となりました。その後 28BY の純米大吟醸 4 種を召し上がっていただき恒例の大抽選会。今回は臥龍梅の酒粕を使った缶入り甘酒、すき焼きのたれ、粕漬け魚さらに臥龍梅特製トレーナーと、臥龍梅尽くしの景品で好評を博しました。最後は地元で予定されている、**月の聴**、**しみず寄席**という二つの寄席のペアチケットを景品にした恒例の大じゃんけん大会で、会場内は割れんばかりの盛り上がりとなりました。閉会後、お客様から、口々にとても楽しかったので来年も是非とも開いてくださいというお声を頂き、忙しいさなかに頑張って開催した甲斐があったとつくづく思いました。11 月 19 日には応援団員の望月さんが静鉄新静岡駅近くの workspace AOSIMA で**月の聴Ⅶ**を開催しました。上方落語の雄、**月亭文都師匠**の独演会です。その寄席の仲入りに試飲会、終演後に呑酒会を開いて頂いたのです。会場には応援団員の姿も多く、落語とお酒のコラボの会もすっかり定着した感があります。11 月 28 日にははるばる兵庫県西脇市まで山田錦と愛山の買い付けに出かけました。生産者の話では**今年の山田錦は殊に出来がよかった**とのことで、お酒ができるのが楽しみです。農家のあぜ道みたいなところへ大型トラックを乗り入れるのですが、今年の運ちゃんはぼーっと運転していてフォークリフトを危うく田んぼへ落としかけ、トラクターで引っ張り上げてもらいました。まったく何が起こるか判りません。

さて、平成 29BY の新酒を次々と上槽中ですが、五百万石 55%の純米吟醸袋吊りはもう試されましたか？今期分は残り僅かとなってまいりましたのでお早めにご注文ください。

寒気厳しき折からお風邪など召さぬよう。　　敬具

平成二十九年十二月吉日　　鈴木　克昌